



エンディング（終活）支援

佐藤 淳一

問 高齢化率が急激に上昇を続けているが、高齢者が安心して最期を迎えるための「終活」について、見解を伺う。

健康福祉部長 どのような最期を迎えるかなど、生前に意思をまとめて身近な家族などに残すことは、安心して最期を迎える準備として大切な活動であると考えます。

問 岩沼市のエンディング（終活）支援の現状について伺う。

介護福祉課長 終活をテーマにしたセミナー、相談会を開催しています。また、市内4つの地域包括支援センターでは、高齢者の終活を含めた日常生活全般にわたる相談を専門職が受けています。

問 終活についての啓発を行い、さらに、エンディングノートの配布を行うのはどうか伺う。

健康福祉部長 今後も終末期を迎える講演会などで啓発を図っていきます。エンディングノートは、既に実施している自治体もありますので、有用性を研究します。

進んだ取組を検討すべき

問 横須賀市では、ひとり暮らしの高齢者や身寄りがなく生活に余りゆとりのない高齢者がお亡くなりになった時に無縁仏のような事にならないように、取組を進めている。これを参考に岩沼市でもエンディング（終活）事業を行うべきと考えるがどうか伺う。

健康福祉部長 高齢者が自分自身の最期について考え、万が一に備えて準備することは、不安なく人生を豊かに暮らすのに必要だと考えます。どの方にどの支援ができるか、横須賀市の事例も含めて内容等を研究します。

市長 単身世帯の高齢者の最期の問題は必ず出てきます。最近、お亡くなりになった方で身元が分からず調べると、遠くに家族がいて、親族と認めても引き取ってもらえなかった例もありますので、行政として、しっかりと最後まで送るということを考えていかなければならないと思います。

◎その他の一般質問
 ・改正健康増進法と健幸先進都市のあり方



第三次生涯学習推進計画

布田 一民

問 平成18年の教育基本法の改正において、第3条に生涯学習の理念が規定された。そのことから、平成19年度2度にわたり「生涯学習基本計画並びに推進計画について」質問をした経過がある。新たに第三次計画が策定されたことから岩沼市の生涯学習の理念について改めて伺う。

市長 いわぬまま未来構想を支える一つの柱で、いつでも学び合えるような共生社会を目指していきたいと考えます。

問 この当時、「生涯教育」そして「生涯学習」は一定程度すみ分けがされており、また、生涯学習の理念の上に「学校教育」「社会教育」といった教育制度があると思っていた。しかし、行政のトップである市長が推進本部長になっていたことが驚きでもあり、改めて、教育委員会としての理念の考え方を伺う。

教育長 生涯学習は自ら学ぶといった姿の体制をどのように補完していくのが大事です。いつでもどこでも誰でも、いつまでもという

う理念を大事に思います。

問 岩沼市では、第二次生涯学習推進計画の評価をどの様に考えたのか。行政評価は、内部及び外部評価で行政改革を推進する事を狙いで行っている。対象となる「政策」「施策」「事業」には、生涯学習施策も振興のための施策も含まれるが、どのように第三次につなげたのか伺う。

市長 評価は、満足度調査で実施しています。ランキングで見ると生涯学習は低い評価です。

資格取得の為の支援策を

問 学習政策の要と言われている社会教育行政には、社会教育計画の立案とその評価に関する方法論があるから応用してはどうか。

教育長 岩沼市に合った評価を再度考えていきたいと思えます。

問 学習を生かすためにも、講座や資格取得の為の情報収集をし、提供窓口開設や支援策も考えてはどうか伺う。

市長 市民のニーズに向き合える組織づくりを考えていきます。